

2020.06.17

福岡37会、佐賀県唐津市・

奥作礼山（おくさくれいざん）897m、作礼山（さくれいざん）887mの

イチヤクソウ、ウメガサソウ、モウセンゴケ

九合目登山口～奥作礼山～九合目登山口～作礼山（東峰（作礼神社上宮）～西峰）～栗の木登山口（デポ地）



デポ地の栗の木登山口



9:30
栗の木登山口 (デポ地)



9:31

九合目登山口に行く途中



9:46
作礼山 (さくれいざん) 887m



八幡岳 (はちまんだけ) 764m

9:46



奥作礼山（おくさくれいざん）897m

10:07 九合目登山口駐車場



10:10
九合目登山口駐車場

九合目登山口駐車場



10:13
九合目登山口駐車場



奥作礼山（おくさくれいざん）897m

まず、奥作礼山に向かう

10:13
九合目
登山口駐車場



10:17
奥作礼山登山口

奥作礼山（おくさくれいざん）897m
山頂からの展望はあまりきかない。



10:41
奥作礼山山頂



10:41
奥作礼山

八幡岳764m

作礼山（さくれいざん）887m

モアイ岩→



10:42

奥作礼山（おくさくれいざん）897m



10:54



10:57



10:58 九合目登山口駐車場に戻る



11:03
作礼山(さくれいざん) 887mに向かう



ヤマツツジ (山躑躅)
ツツジ科 半落葉低木





11:13



11:15



11:21 じゅんさい池



ヤマボウシ (山法師)
ミズキ科 落葉高木
別名: ヤマグワ (山桑)



作礼山

作礼山管理

11:39



11:40 中の池



11:40



11:43



ジュンサイ (蓴菜)
スイレン科



11:45 中の池



11:45 中の池



11:45 緑の池



11:54 緑の池



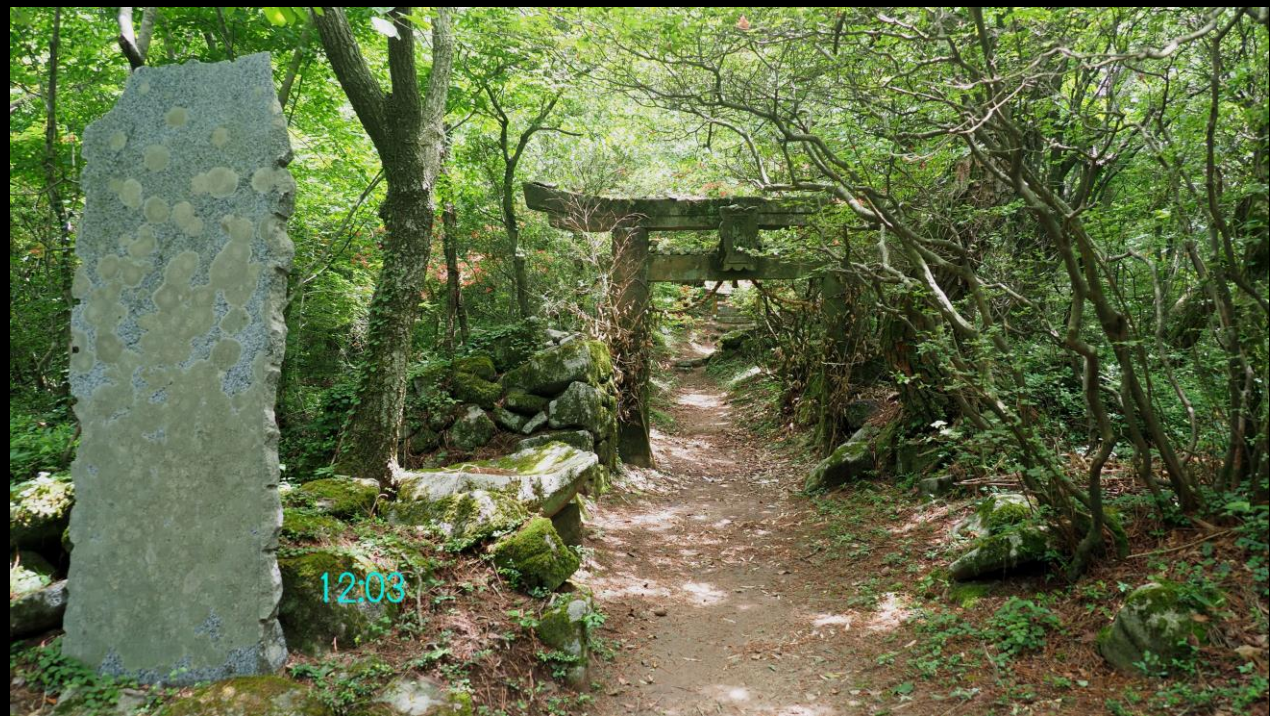
11:55
中の池



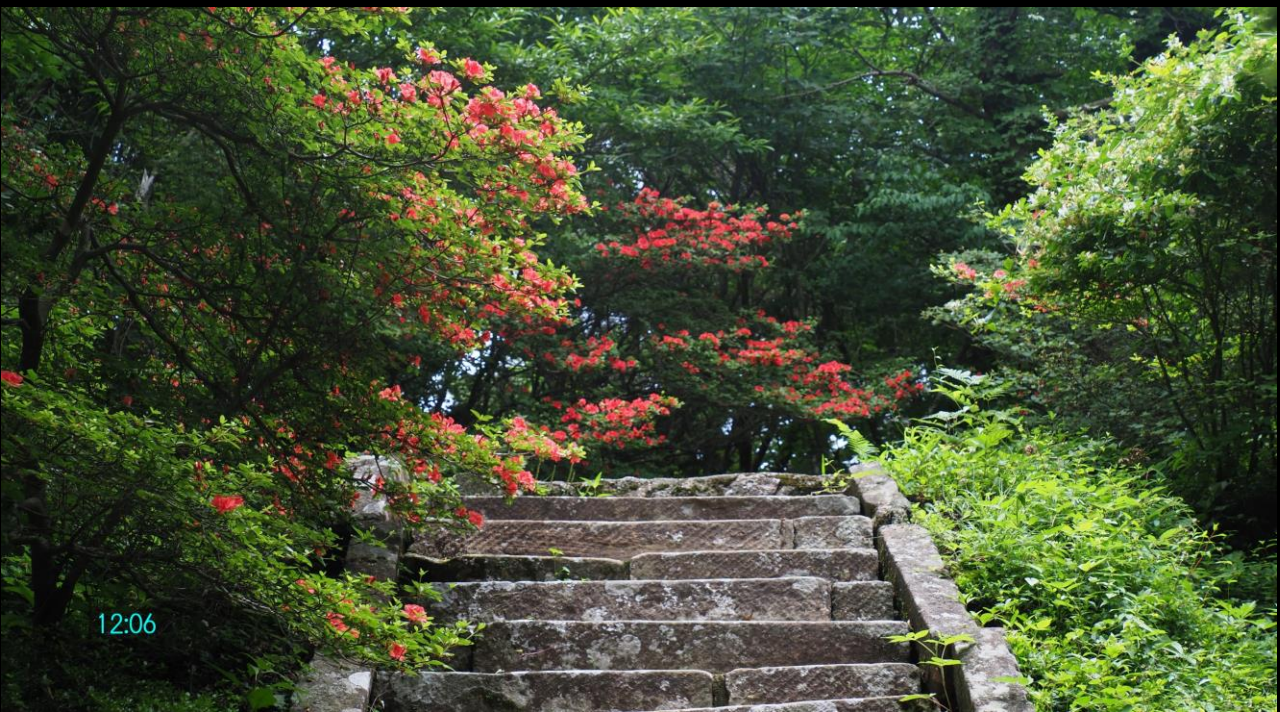
11:59 ヤマトツジ (山躑躅)
ツツジ科 半落葉低木



12:01



12:03





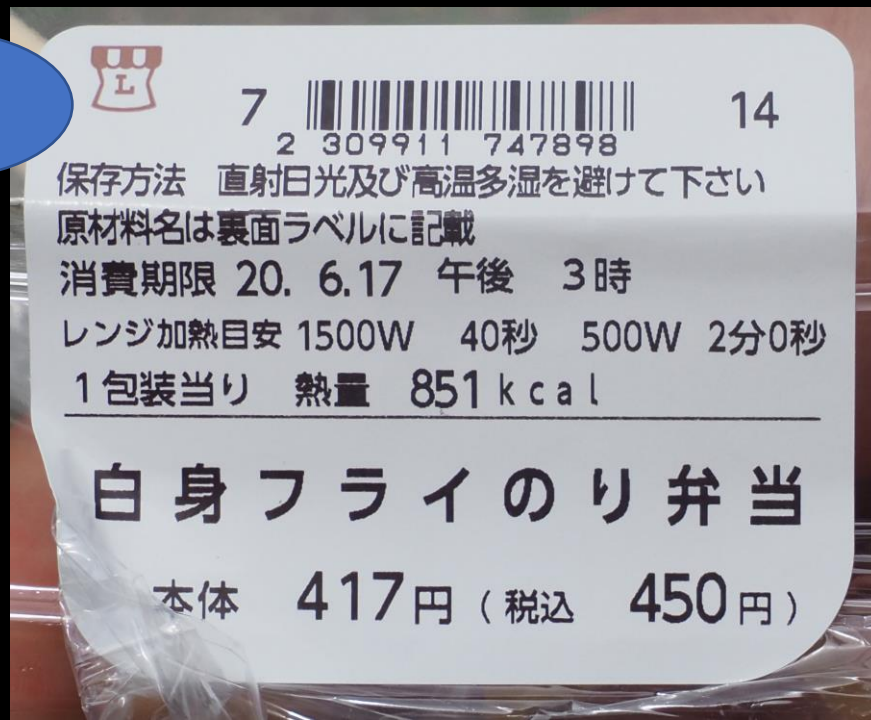
12:12 東峰（作礼神社上宮）





2人

12:18



白身フライのり弁当

本体 417円 (税込 450円)

1人

12:22



1人

12:19



1人

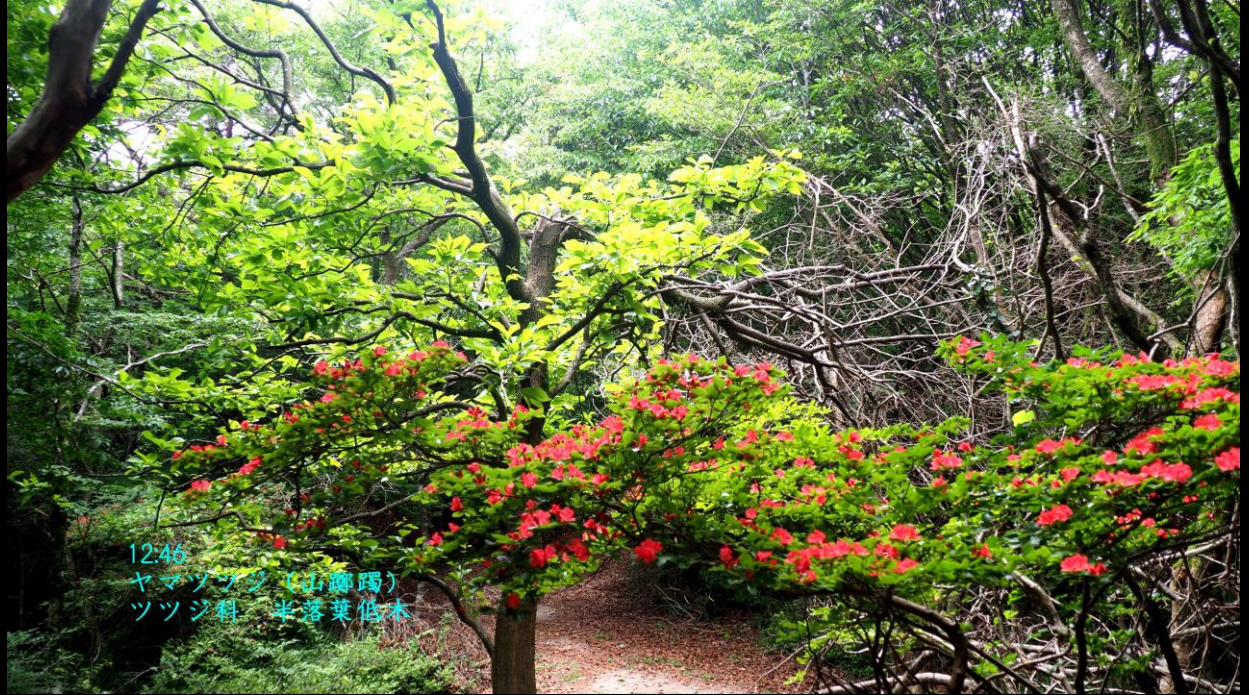
12:22

昼食は、
景色が良い
東峰（作礼
神社上宮）
でとる。

作礼山（さくれいざん）は、古くは作礼岳（さらいだけ）といわれ、山岳信仰の霊山であった。
東峰には、権現神社（作礼神社上宮）がある。



12:34
東峰（作礼神社上宮）



12:46
ヤマソブツ（山躑躅）
ツツジ科 半落葉低木



12:47



12:47



12:54
作礼山 (さくれいざん) 887m



12:55
作礼山 (さくれいざん) 887m



13:01
作礼山 (さくれいざん) 887m



13:05



13:14



ツルシキミ (蔓櫛)
ミカン科 常緑低木



13:15



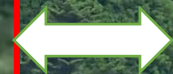
13:15

天山1046m 雨山 (あめやま) 996m



13:20

13:22 遠見岩



モアイ岩



13:22 遠見岩



遠見岩





頭

足

13:31
イノシシに見える



13:35
ゾウに見える



13:36
ゾウに見える



13:50
栗の木へ向かう

A photograph of a forest floor. In the background, a person wearing a white shirt, khaki pants, a cap, and a backpack is walking away from the camera on a dirt path. The forest is filled with tall, thin trees and dense undergrowth. In the foreground, a large, leafy plant with several upright stems and small, developing flower buds is the focus. The ground is covered with brown pine needles and fallen twigs.

14:04

スラリとした
マムシグサ (蝮草)
サトイモ科





14:43
栗の木登山口に到着
4時間30分の行動時間

ここから出発地の
九合目登山口駐車場に向かう

🕒 タイム

🚶 距離

⬆️ 上り

⬆️ 下り

04:31

4.1 km

213 m

586 m



📶 電波

🕒 タイム

📶 電波



14:55
美味しい水場あり



14:59

テン（貂、黄鼬） イタチ科



15:09 出発地の九合目登山口駐車場に到着



15:38
道の駅巖木

佐用姫像

佐用姫は巖木町笹原地区の篠原の長者の娘で、たぐいまれな美人であつたと伝えられています。

宣化天皇二年（五三七）、朝廷の命を受けた大伴狭手彦が

朝鮮半島の任那

みまな

くだら

・百濟救援の途中、松浦の地で軍装を解き、

しばしの休養と渡海の準備をしていたときに、佐用姫を見初め、やがて夫婦の契りを結びました。狭手彦が出発する日、たとえ短い間だったとはいえ狭手彦を心から愛するようになった佐用姫は、別れが悲しくて港まで後を追いました。そして、港を離れる軍船に、姫は背中から左右の肩にかけ長く垂らした「領布」ひれを一心不乱に振り続けました。

万葉の歌人はその情景を

海原の沖行く船を帰れとか

領布振らしけむ松浦佐用姫

と歌い、愛とロマンを伝えています。巖木町は、生誕の伝承地に近いこの地に、佐用姫の領布を振る姿と一途な愛にならい、「自然とロマンの風のふるさと」づくりの象徴として像



15:49

佐用姫（さよひめ）

15:50

風のふるさと館



解散

登山中に見た花々





ニガナ (苦菜)
キク科



ツゲ (黄楊) ツゲ科 常緑低木



ナルコユリ (鳴子百合) ユリ科



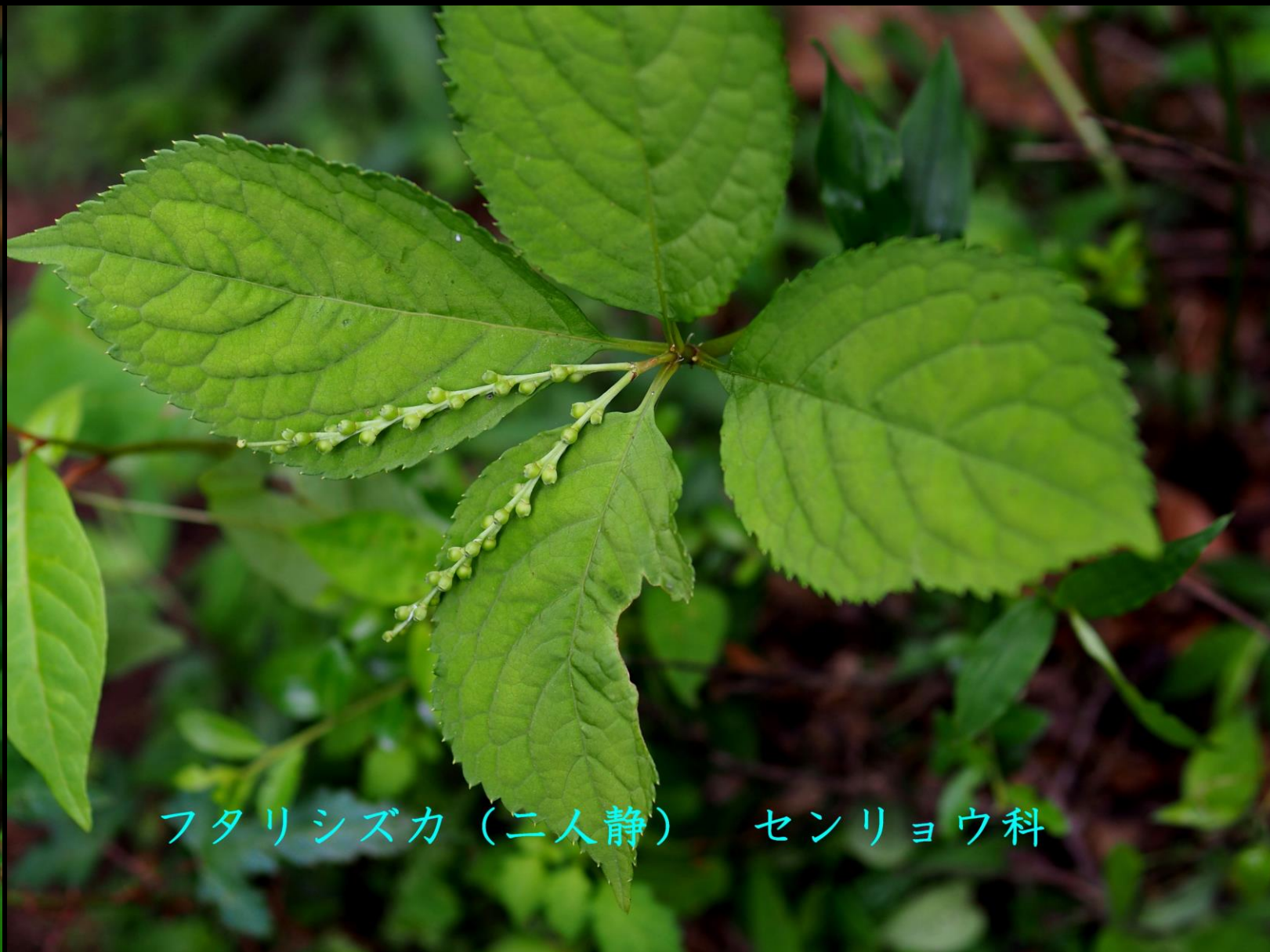
タイリンアオイ (大輪葵)
ウマノスズクサ科



イチヤクソウ (一葉草)
ツツジ科



イチヤクソウ (一葉草)
ツツジ科



フタリシズカ (二人静) センリョウ科



ヤマツツジ (山躑躅) ツツジ科
半落葉低木



ツゲ (黄楊)
ツゲ科 常緑低木



オカトラノオ (丘虎尾)
サクラソウ科



ヤマツツジ (山躑躅)
ツツジ科 半落葉低木



ヤマツツジ (山躑躅)
ツツジ科 半落葉低木



ハナニガナ (花苦菜)
キク科



ヤマボウシ（山法師） ミズキ科 落葉高木
別名：ヤマグワ（山桑）



タイリンアオイ
(大輪葵)
ウマノスズクサ科



ニワゼキショウ (庭石菖)
アヤメ科 帰化植物



ウツギ (空木) アジサイ科
別名: ウノハナ (卵の花)



ウメガサソウ (梅笠草)
ツツジ科



ウメガサソウ (梅笠草)
ツツジ科



ウメガサソウ
(梅笠草)
ツツジ科



イチヤクソウ（一葉草）
ツツジ科



イチヤクソウ（一葉草）
ツツジ科



モウセンゴケ (毛氈苔)
モウセンゴケ科



モウセンゴケ (毛氈苔)
モウセンゴケ科



モウセンゴケ (毛氈苔)
モウセンゴケ科



モウセンゴケ (毛氈苔)
モウセンゴケ科



モウセンゴケ (毛氈苔)
モウセンゴケ科



ツルマンネングサ (蔓万年草)
ベンケイソウ科



コナスビ (小茄子)
サクラソウ科



ツクシショウジョウバカマ
(筑紫猩々袴)
ユリ科



ニガナ (苦菜)
キク科



ヤマボウシ (山法師) ミズキ科 落葉高木
別名: ヤマグワ (山桑)



モミジウリノキ (紅葉瓜の木)
ミズキ科 落葉低木



キランソウ (金瘡草) シソ科



モミジウリノキ (紅葉瓜の木)
ミズキ科 落葉低木



モミジウリノキ (紅葉瓜の木)
ミズキ科 落葉低木



ウツボグサ (靛草)
シソ科

END